
<北山会長ニュースレター>第7信

会長発案による会員向けのサービス企画です。ぜひご参加ください。

(企画の趣旨については学会ホームページ、あるいはニュースレター2020年度第2号参照)

第5回 『コロナの時代の僕ら』(パオロ・ジョルダノ、早川書房、2020年)を読む
～パンデミック状況下で起きたこと、起きていることを忘れないために～

【主催】社会デザイン学会 会長 北山 晴一

【日時】2020年11月22日(日) 14時～15時45分 ※最長16時まで

【形式】ZOOM&動画によるオンラインレクチャー (レクチャー、コメント、フリートーク)

【講師】北山 晴一 社会デザイン学会会長

【趣旨】

今回のオンラインレクチャーでは、『コロナの時代の僕ら』(パオロ・ジョルダノ、早川書房、2020年、本体1300円)を取り上げ、「コロナウィルスが過ぎた後も、忘れたくないこと」(著者後書き)、むしろ「忘れてはいけないこと」をめぐってみなさんとディベートを試みたいと思います。

ご存じのように、著者ジョルダノの暮らすイタリアは、今回のコロナ禍においては、ヨーロッパでもっとも早く、しかももっとも悲惨な被害を受けた国ですが、立ち直りも早く、9月の段階ではもっとも安全な地域と言われたりもしました。

しかし10月に入り状況が一変、他の近隣諸国同様に第2波のただなかにあります。

ジョルダノの文章は、第1波の中にあって日誌風に書かれたものですが、対象がコロナでなくとも、たとえば戦争や言論の抑圧、自由の剥奪(そしてその前夜)といった事柄であったとしても、大いに納得のいく指摘に溢れています。

後書きの中に、フランスの作家マルグリット・デュラスの言葉を引いて、次のように記しています。「平和の様相はすでに現れてきている。到来するのは闇夜のようにもあり、また忘却の始まりでもある」。

戦争が終わると、誰もが一切を急いで忘れよとするが、病気にも似たようなことが起きる。苦しみは僕たちを普段であればぼやけて見えない真実に触れさせ、物事の優先順位を見直させ、現在という時間の本来の大きさを取り戻した、そんな印象を与えるのに、病気が治ったとたん、そうした天啓はたちまち煙と化してしまうものだ。

大事なことは、なによりも「忘れないこと」、のようです。ぜひ、いっしょに読んでみませんか。大きな字で、わずか116頁の本です。

【内容】

今回のレクチャーでは、比較的短めのテキストを取り上げます。

同じテキストを参加者みんなで読むことによって、双方向での意見交換会が活発に行われることを期待してのことです。

したがって参加のみなさんには事前に是非お読みいただくことをお勧めしますが、第2回で取り上げた『銃・病原菌：鉄』（ジャレド・ダイヤモンド）の時と同様に、事前読書なしでの参加も大いに歓迎です。

奮ってご参加ください。

【対象】 学会会員 及び 会員紹介者(研究科院生、学部生、一般)**【要件】** 参加費は無料

ただし、PC または ZOOM アプリをインストールしたスマートフォンが必要となります。

※ZOOM のアカウントを作る必要ありません。

また、PC で参加の場合、発言をするにはPC 内蔵または外付けのマイクが必要になります。

【定員】 30 名 （定員になり次第、締め切ります）**【ZOOM 申込】**

事前に info@socialdesign-academy.org までメールで申し込みください。

※会員紹介者の方は、申込メールに紹介者名を明記してください。

申込者には、後日に参加に必要な URL・ID・パスワードを電子メールで連絡します。

【録画配信申込】

今回、初の試みとしてレクチャー部分を録画編集した動画を、後日 youtube にて限定公開します。

録画の視聴を希望する方は、「録画配信希望」であることを明記して

info@socialdesign-academy.org まで電子メールで申し込みください。

申込者には、後日に視聴に必要な URL を電子メールで連絡します。

以 上

《社会デザイン学会事務局》

TEL : 03-6822-9901

業務時間 : 9時30分~17時
